

市町村等事例報告資料

- ・ 山形県鶴岡市
- ・ 長野県茅野市

山形県 鶴岡市

「市民みんなで考え、みんなで連携・協働し、みんなで支えあうまちづくり」

鶴岡市の地域福祉計画への取り組みについて

山形県鶴岡市長 富塚 陽一

1. 映画「たそがれ清兵衛」に思うこと

- ・働くことも、文化的なことも、からだの不自由な家族を介護することもすべて日常生活の中に分かちがたく自然に同化していた風景・・・

2. 時代の潮流とその対応

- ・少子高齢化が進んでいるが、悲観的にみないようにしよう
- ・右肩上がりの成長感覚に決別しよう

3. これまでの保健福祉施策の展開と社会福祉協議会

- ・各種計画に基づく施策の推進について
- ・高齢者保健福祉におけるエリア制の展開について
- ・介護保険導入後のエリア制の課題等について
- ・社会福祉協議会について

4. 地域福祉計画策定にあたって

5. 地域座談会「みんなこばえちゃ暮らしの車座トーク」について

6. これからの取り組みについて

長野県 茅野市

福祉21ビーンズプラン（茅野市地域福祉計画）は
「福祉でまちづくり」の基本計画

長野県茅野市長 矢崎 和 広

1 パートナーシップのまちづくり

- ・「陳情、官・民一体」から「要望、公・民一体」へ
- ・「ナショナルミニマム」から「ローカルマキシマム」へ
- ・「地方分権」ではなく「地域主権」
- ・生涯学習の重点3部門「福祉・環境・教育」

2 福祉21ビーンズプランの基本理念

- ①一人ひとりが主役となり、「共に生きる」ことができるまち
- ②生涯にわたって健やかに、安心して暮らせるまち
- ③ふれあい、学びあい、支えあいのあふれるまち
- ④すべての人にとって豊かで快適に生活することができるまち

3 より身近な地域で保健福祉サービスを

- ・暮らしの範囲を段階的なレベルに分け（生活圏の階層化）、保健福祉サービスもそれらの階層に合わせて体系化（保健福祉サービスの重層化）。
- ・新たな生活圏として、市内に四つの「保健福祉サービス地域（エリア）」を設定。
- ・それぞれのエリア内で保健・医療・福祉のニーズを充足・完結していくための拠点施設として「保健福祉サービスセンター」を開設。

4 一人ひとりのトータルケアに取り組むために

- ・保健福祉サービスセンターには、保健・医療・福祉に関係する実家の異なる市職員や民間のスタッフなどが常駐。
- ・エリア内で発生する様々な生活課題・地域課題の発見と解決に対し、チームとして市民一人ひとりのトータルケアに取り組む。

5 地域自立生活支援システムの確立を目指すために

- ・地域住民の「たまり場機能」としての「地域交流センター」を設置。
- ・身近な生活圏（4層・5層）におけるフォーマルサービスとインフォーマルサービスの有機的な連携のため、エリア内での小地域支えあい活動やボランティア活動の展開にも取り組み。

6 教育と児童福祉が一体となった「こども・家庭応援計画」

- ・平成14年7月、0歳～18歳になるまで継続して応援するため、学校教育と児童福祉が一体となって、一人のこどもと家庭を応援していく「どんぐりプラン」（茅野市こども・家庭応援計画）を策定。
- ・大型店の撤退した再開発ビルの床を購入し、「こども館」を設置。